

子育て広場 くすくす

(善通寺市子ども家庭支援センター内)

“子育てと自己実現”を一体的にサポートし、「ひろば」から地域へ広げる子育て支援の輪。



プロフィール

運営主体 特定非営利活動法人子育てネットくすくす
 所在地 〒765-0013 香川県善通寺市文京町2-2-2
 TEL&FAX 0877-64-0580
 開設 平成14年4月
 開所時間 10時～16時(月曜日～金曜日)
 スタッフ 非常勤4名
 利用者数 月間延べ人数約600人



子夢の家

「子育て広場 くすくす」は、善通寺市健康福祉部子ども課との連携により「NPO 法人子育てネットくすくす」が受託運営する“会員制のひろば”です。その主たる活動方針は「地域の中に、障害のある／なしにかかわらず、親子が自由に立ち寄ることのできるセカンドホーム(第2の家庭)を創り出していく」こと。平成16年には、障害児を対象とした児童デイサービス事業「すまいる」を併設スタートし、「子育て広場 くすくす」とのかかわりを積極的に進めています。さらに平成20年4月、市の委託を受け市内2ヶ所目の広場(民家)「子夢の家」をオープン。“戸外での遊び”が魅力の新たな子育て支援拠点として地域の期待を担っています。

利用者の声

家では子ども二人がかっついて、喧嘩ばかり・・・でも、広場では自然と二人の間に良い距離が生まれ、私も子どもも友だちに囲まれながら安心して楽しい時間を過ごせるようになりました。また、趣味のお菓子作りも広場で活かすことができるのでとても嬉しいです。

事業の特徴

「子育て広場 くすくす」の利用者は利用登録制により月会員もしくは一回利用のいずれかを選択、月会員は入会金・保険料・月会費、1回毎の利用者は利用料を支払うシステムとなっています。このような会員制を採用している理由は、利用者を「共にひろばを創るパートナー」と位置づけ、事業への積極的な参加意識を喚起するためです。「ひろば」は「寄り添い支援」をベースにした「子育て・親育ち」の場であると

時に、お母さん方の自主的な活動の場となるよう様々な工夫がなされています。例えば、ひろば内の専用ボックスを活用した「チャレンジボックス(ワンボックスを1ヶ月貸出)」は、お母さん方が手作りケーキや刺繍などを展示販売する“自分だけのミニ・ショップ”。また、「パソコン教室」「フラワーアレンジメント教室」「虫歯チェック」なども、特技や資格を持つお母さん方が運営企画者となって実施されています。こ

のように“子どもの成長を見守りながら自己実現できる場”を通じて、利用者は子育て支援事業への参加意欲を自然に醸成。その一例として、毎月1回近隣の中学校で開催される「中学生と乳幼児のふれあい体験活動(平成17年9月スタート)」では、「ひろば」の利用者だった“ボランティア・ママ”たちがプログラムの企画や参加親子のサポートを自主的に行うなど、“循環型支援”の輪を着実に広げています。

交流・研修に加え「一時保育」を実施、
中心市街地活性化を担う“大型ひろば”。



プロフィール

運営主体 特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド
 所在地 〒990-0042 山形県七日町2-7-10 NANA-BEANS 5F
 TEL.023-615-1930 FAX.023-615-1933
 開設 平成14年6月
 開所時間 9時～17時(休館日:毎週木曜日、毎月最終火曜日)
 スタッフ 常勤6名(保育士2名)、有償ボランティア40名
 (ひろばスタッフは常勤2～3名、有償ボランティア10名)
 利用者数 月間延べ人数約2900人(ひろばのみでは約2200人)



山形市の中心市街地の一角、メインストリートに面した複合ビルの5階に「子育てランドあ〜べ」があります。このビルは、2000年に大手デパートが撤退した後、市が“中心市街地の活性化及び賑わいを創出”するために再オープンを図ったものであり、「子育てランドあ〜べ」の事業もその役割の一端を

担っています。現在、“あ〜べ”の新規登録者数は年間約2200人。その数は山形市の年間出生者数に匹敵し、出産した市民の多くが一度は足を運ぶ“中心市街地の大型ひろば”として、人のつながりと街の賑わいを創出する上で欠かせない存在となっています。

事業の特徴

「子育てランドあ〜べ」の事業の大きな特徴は、生後6ヶ月から就学前までの子どもを対象とした「一時保育」があること。9時～16時までの間で最長3時間まで1時間500円の低料金でひろばとは別のスペース「託児ルーム」でお子さんを預かります。年齢構成・時間を考慮した柔軟な保育プログラムをベースに、「健康管理票」や「託児カード」により保護者とのコミュニケーションを図りながら、安心して利用できるような万全の体制で運営されています。また、法人の活動の中で取り組んできた「子育てサー

クルのリーダー育成」の延長として、「母親の就職支援」をコンセプトにした研修事業にも注力。IT講習会など、子育て中でも自分自身をスキルアップできるような多彩な講座を開催しています。さらに、「発達相談」や再就職準備のための「おしごと」相談などの相談会、「子育て体験ボランティア(高校生)」の受け入れ、父親の来館を促すイベント、情報紙の発行など……施設運営への利用者の自主的な参加を促しながら、地域社会全体で子どもと子育て家庭を支援する“ネットワークづくり”を展開しています。

利用者の声

散歩の時に“あ〜べ”の存在を知り、すぐに登録……初めての子育てで何から何まで不安だったのですが、同年代の親子や孫と一緒に来るお年寄りの方々と交わる中で、とても楽な気持ちになりました。だから、子どもが1歳を過ぎた今でも大切な“居場所”……何かお手伝いをしたくて、先日は装飾(掲示物)のボランティアに参加しました。